



CONTENTS

- ② がんばってますか 組合長です！
相蘇 信一さん
- ③ 表紙紹介 干し大根のはさ掛け
- ④ ニュース&トピックス
創立30周年記念祝賀会 遊佐町畜産組合 ほか
- ⑥ 特集 福祉・介護事業を紹介します
- ⑧ 営農のしおり 平成29年産米の概況
- ⑨ 園芸生産拡大への道
園芸拡大事業の初年度実績と30年度生産者募集
なるほど！ちよリス
JAマイカーローン・教育ローン
- ⑩ Pick up items
JA自己改革 農家直送規格の取り扱い開始 ほか
- ⑪ みどりサービス通信
マルノー山形の発酵食品の技術を世界へ！
女性大学マナビーマイト2017
- ⑫ みんなのふれあいひろば
読者からのおたより
- ⑬ ベジタブルライフ ネギ
健康百科 胸焼けと胃食道逆流症
- ⑭ クロスワードパズル
米粉でつくろうかんたんレシピ集
簡単！炊飯ジャーで米粉ケーキ
- ⑮ インフォメーション
理事会だより
あとがき
- ⑯ 農協観光おすすめ 旅行特集！
にっぽん演歌の夢まつり2018
家の光

今月の表紙

干し大根のはさ掛け 浜風で仕上がりも順調

浜中地区では、11月上旬から干し大根のはさ掛け作業が始まりました。同地区の干し大根は、砂丘で栽培された専用品種の「干し理想」と「干し一番」で、すらりと長い姿と白い肌が特長です。JA浜中野菜出荷組合野菜専門部では生産者24人が約7.5haで栽培し、12月上旬まで約180トンの出荷を見込んでおり、関東・東北の市場に、漬け物用として出荷されています。

菅原広道同部会専門部長は、「8月下旬の播種以降高温が少なく、栽培には適した年だった。仕上がりは順調で市場からは庄内産でないと言われるほど、評価を受け励みになっている。今後も期待に応えていきたい」と意気込みを話していました。



▲11月15日の目ざろえ会では出荷規格を確認し、市場の動向なども報告されました



▲はさ掛け中に、干し大根の根をハサミで切る作業が行われます



▲寒風に揺れる“干し大根のカーテン”。庄内の冬の風物詩の一つです